

平成18年度教育研究業績書

氏名 滝川 幸司

最終学歴	1998年3月 大阪大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了
取得学位	博士（文学/大阪大学）
所属学会	中古文学会、和歌文学会、和漢比較文学会
現在の専門分野	平安朝文学
研究課題	天皇と文芸に関する研究、菅原道真研究、平安前期詩人歌人伝研究

【研究上の特記事項】

平成18～21年度科学研究費若手研究（B）「平安時代前期における天皇主催詩宴の復元的研究」研究代表者

【社会的活動】

中古文学会関西西部会委員、和歌文学会委員、和漢比較文学会常任理事、教員を対象にした研修講座（奈良大学）、両機会講演（橘寺）

【学内活動】（学内職歴を含む）

全学教務委員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書） 天皇と文壇 平安前期の公的文学	単	2007年2月	和泉書院	これまで公表した論文の中から平安前期の公的文学に関するものを増補・改訂して収めた。平安前期の天皇を中心とした公的文学生成の場において、いかに漢詩文が存在したのか、またいかに和歌が位置付けられるのかを考察する。
（学術論文） 曲水宴考証	単	2006年4月	詞林39	平安前期における曲水宴の変遷について述べた。1-23 p
道真の同僚	単	2007年3月	奈良大学紀要35	道真の同僚についての考証。31-59 p
（その他） 書評・波戸岡旭著『宮廷詩人 菅原道真 - 『菅家文草』・『菅家後集』の世界』 -	単	2006年7月	国語と国文学83-7	表題の研究書の書評。75-80 p